

令和 02 年度 事務事業評価書

新継区分	新規	事務事業名称	806 公共施設等総合管理計画（個別施設計画）策定支援業務委託				
担当部	010000 総務部		課・室	010401 財政課		所属長名	宮里一樹

(1) 基本情報

基本目標		008 信頼のつながるまち(協働)	施 策	004 健全な財政運営の確保
事務事業期間		令和02年度 ～ 令和04年度	会計種別	01 一般会計
経費の性質			実施計画対象	1:対象
事業概要	実施方法	業務委託又は指定管理	実施根拠 (法令や条例等)	・「インフラ長寿命化基本計画」 ・「糸満市公共施設等総合管理計画」
	目 的	公共施設等総合管理計画に掲載している建物施設について、客観的な評価等を取り入れるなど全庁統一的な基準を定め、個別施設計画を策定する。		
	対 象	公共施設等総合管理計画に掲載している建物施設（学校施設と市営住宅を除く）		
	活動内容	① 建物劣化診断評価及び施設維持更新コストの算定を実施。 ② ①終了後に、施設の長寿命化に必要な点検・診断の方法や体制の策定や維持更新計画を作成する。併せて、業務実行に必要なシステムの導入も行う。 ③ ①と②の内容に基づき、個別施設計画及び関連資料を作成・整備する。		
	意図（成果）	各課が所管する施設の今後の在り方等を検討した個別施設計画を策定し、糸満市公共施設等総合管理計画（平成29年3月）で定める施設の長寿命化・管理の効率化等を推進していく。		

(2) コスト及び成果

		単位	H31年度決算	R02年度予算	R03年度予算	R04年度予算	R05年度予算
事業費	国庫支出金	千円	0	106	805	528	528
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	106	805	528	528

この事務事業の業務量を数値化したもの・・・活動指標		
活動指標名	単位	左記の活動指標とした理由
個別施設計画の策定	年度分	令和2年度中に計画を策定する必要があるため、指標として適切と判断した。
システムの保守管理	年度分	年度間ごとに保守管理を適切に行う必要があるため、指標として適切と判断した。

この事務事業の成果を数値化したもの・・・成果指標		
成果指標名	単位	左記の成果指標とした理由
個別施設計画の公表	年度分	策定した計画を公表することで、市の公共施設等に関する情報の「見える化」に寄与する。
システムの適正運用の実現	年度分	年度間ごとに保守管理を適切に行う必要があるため、指標として適切と判断した。

活動指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
個別施設計画の策定	計画値	年度分	計画値	0	1	1	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
	計画値	年度分	計画値	0	0	1	1	1
			実績値	0	0	0	0	0
システムの保守管理	計画値	年度分	計画値	0	0	0	0	0
	実績値		実績値	0	0	0	0	0

成果指標	指標名	単位	区分	H31年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
個別施設計画の公表	計画値	年度分	計画値	0	1	1	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
	計画値	年度分	計画値	0	0	1	1	1
			実績値	0	0	0	0	0
システムの適正運用の実現	計画値	年度分	計画値	0	0	0	0	0
	実績値		実績値	0	0	0	0	0

妥 当 性	①事務事業を実施する妥当性	● 目的は明確で上位の施策に結びついている ○ 目的は上位の施策に結びついていない ○ 内部管理経費のため、上位の施策に結びつかない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 個別施設計画策定により、本市が所有する公共施設の今後の在り方等を検討し、施設の長寿命化・管理の効率化等を図ることで「第8章 信頼のつながるまち(共働) 4節 健全な財政運営の確保」の達成に資するものである。
	②行政が関与する妥当性	● 法令及び条例によりサービスが義務付けられている ○ 国、県、市の協調によるもの ○ 民間ではできない、または民間では実施していない ○ 民間に同様・類似のサービスがあるが、質や量等が不十分なため、補完するもの ○ 民間に同様・類似のサービスが存在する 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 国が定める「インフラ長寿命化基本計画」において個別施設計画を令和2年度までに策定することが求められている。本市の「糸満市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）において令和2年度までにアクションプランを策定することを定めている。

必 要 性	③市民ニーズ	○ 市民のニーズの有無に関わらず実施する必要がある ● 市民ニーズが増加傾向にある ○ 市民ニーズが現状維持の傾向にある ○ 市民ニーズが減少傾向にある ○ 市民ニーズを把握していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 厳しい財政状況の中、公共施設の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行い、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要なため。
	④現時点での優先性や緊急性	○ 緊急事態への対応、最重要施策など最優先して実施する必要がある ● 日常的な安全、生活を確保するために実施する必要がある ○ 公共サービスの平均的水準を確保するために実施する必要がある ○ 現時点での優先性や緊急性は低いものの、市の将来のために実施した方がよい ○ 現時点では必ずしも実施しなくてもよい 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 老朽化した公共施設の維持管理や修繕が滞った場合、快適な施設利用に支障をきたすばかりではなく、利用者の事故や施設の使用停止といった事態が生じるなど、市民生活に悪影響を及ぼすため。

公 平 性	⑤受益者負担は適切か	○ 広く市民を対象としていることから適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担があり適切である ○ 事務事業の対象が特定されているが、受益者には応分の負担となっていないため、見直しの余地がある ○ 受益と負担の適正化を求める事業ではない（社会福祉等を目的とする事業など） ● 公平性の評価になじまない（内部管理業務など） 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 本市が所有する公共施設の長寿命化・管理の効率化等を図ることが目的の業務であり、受益者負担になじまない。
-------------	------------	--

効 率 性	⑥事業の成果を低下させずにコスト削減を図っているか否か	○ かなり削減できている ● ある程度削減できている ○ あまり削減できない ○ 削減できない ○ 効率性の評価になじまない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。 各公共施設の实地調査や評価を所管課職員で実施することで委託料を削減することを検討中。その際は評価基準や評価方法について、委託業者に業務支援を行ってもらう予定。
-------------	-----------------------------	--

有 効 性	⑦成果指標の目標値(予測値)に対する達成度	○ 目標を上回る ● 目標を概ね達成している ○ 目標をやや下回る ○ 目標を下回る ○ 成果指標を設定していない 説明欄 上記の理由を説明欄にお書きください。
-------------	-----------------------	---

(4) 評価の総括

所属長所見 1. 妥当性 ○ 適切 ○ 見直す余地あり 2. 必要性 ○ 適切 ○ 見直す余地あり 3. 公平性 ○ 適切 ○ 見直す余地あり 4. 効率性 ○ 適切 ○ 見直す余地あり 5. 有効性 ○ 適切 ○ 見直す余地あり	総合評価 ・全て適切でA評価 A 現状どおり事業を進めることが妥当 ・適切3～4でB評価 B 事業内容や事業手法に改善を行う余地あり ・適切1～2でC評価 C 事業縮小または内容や手法に大幅な見直しが必要 ・全て見直しでD評価 D 事業の廃止や休止など、事業のあり方について検討する必要あり
所属長所見 □ 拡大・充実 □ 現状維持 □ 改善 □ 民間委託 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止 □ 完了	改革改善案（総合評価でA評価の場合は記載不要）